



性暴力対応における倫理と役割を学ぶ

～神奈川県内で保健医療福祉を学ぶ学生を対象に～

平成26年11月9日(日) 13:00～16:30
(12:30 受付開始)

場 所：ウィリング横浜 5階研修室 (501・502)
(横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内)

参加費：無 料

申込先：神奈川県立保健福祉大学看護学科 村上研究室

メール (murakami.akemi@aol.jp) でお申込みください。

学校単位でお申し込みください。学校名, 参加者名簿, 連絡者氏名,
緊急連絡先電話番号, 連絡者メールアドレスをお知らせください。

不備がある場合は受け付けられません。締切11月1日 (定員100名)

主催：神奈川県立保健福祉大学地域貢献研究センター (プロジェクト代表者 村上明美)
後援：神奈川県立保健福祉大学を支援する会, StaRTかながわ

【ご案内】

神奈川県立保健福祉大学地域貢献研究センターでは、活動の一環として、行政や医療機関、NPO、民間団体などと連携・協働し、性暴力被害に対応できる支援者の養成に取り組んでいます（プロジェクト代表 看護学科 村上明美）。

このたび、神奈川県内で保健医療福祉を学んでいる学生さんを対象に「性暴力対応における倫理と役割を学ぶ」という研修会を開催することになりました。

保健医療福祉に携わる者は、しばしば性暴力被害にあわれた方と接する機会があります。いつ・どのような状況で被害者に遭遇するか予測はできませんが、その際、被害者に二次被害を生じさせないことは対応の基本となります。

今回の研修会は、近い将来、保健医療福祉の専門職となる学生の皆さんに、性暴力対応の基礎を学んでいただきたいと企画しました。被害当事者や被害者支援専門家による講義やワークは、大変貴重な学びの時間となることでしょう。

どうぞこの機会を逃さず、研修会にご参加ください。

プログラム

平成26年11月9日（日）

13:00—13:10

開会あいさつ

13:10—14:10

サバイバーの声を聴く
(小林美佳)

14:20—16:20

性暴力防止ワークショップ
(エンパワメントかながわ)

16:20—16:30

閉会あいさつ

本研修会は、公益財団法人トヨタ財団2013年度社会コミュニケーションプログラム(課題名:「地域を基盤とした包括的な性暴力被害者支援体制の構築に向けて—情報発信・支援者養成・意識啓発を中心に」代表者:棟居徳子)による助成を受けています。